

ジャパントラベルアワード 2023 美山町が「感動地」に認定されました！

2023
JAPAN
TRAVEL
AWARDS™
REGISTERED



美山町がジャパントラベルアワード 2023 において日本の「感動地」に認定されました。ジャパントラベルアワードとは、全国の自治体や DMO、企業、個人における持続可能な開発目標(SDGs)の推進や多様性に関する取り組みの中から、日本の新たな「感動地」を認定し、発信していくアワードです。全国 142 の応募の中から美山町を含む 27 の地域や企業が選ばれました。

持続可能性や多様性など 4 つの分野に基づいて審査されており、美山町は特に観光事業者、地域住民、行政が一体となって観光に取り組んでいる点や、地域の暮らしや自然を地元ガイドが伝えている点などが評価されました。

10月の現地審査や追加資料の提出を経て、感動地の中から2023年1月にグランプリが発表されます。審査員からの講評を踏まえ、より良い観光地づくりを地域の皆様と取り組んでまいります。

旅の祭典 ツーリズム EXPO ジャパンに出展

9月22日～25日、東京ビッグサイトで開催された世界最大級の旅の祭典「ツーリズム EXPO ジャパン」に農水省が推進する「農泊」地域の1つとして出展しました。期間中12万人を超える来場者が訪れ、旅行意欲の戻りがみられました。業界日には教育旅行を取り扱う旅行会社を中心に15社と2023年度以降の商談を行いました。一般日には町内事業者の紹介資料を用いて来場者に美山町のご案内をいたしました。また、“農泊”をテーマに美山町の体験や特産物についての〇×クイズも実施。全国的に美山町の知名度を高める絶好の機会となりました。

訪日観光の再開や10月11日から開始する全国旅行支援により、今後観光客の増加が見込まれる中、美山を旅先として選んでいただけるよう、商品造成と合わせて今回のような旅行博への出展やウェブサイトでの情報発信にも注力してまいります。



教育旅行回復の兆し

コロナ禍で中止や延期が相次いでいた修学旅行がようやく再開され、7-9月にかけてヌヴェール学院小学校、奈良学園小学校、追手門学院大学、神戸大学、立正大学、大手前高校の計6校の受入を実施いたしました。地域事業者や住民の方々にご協力いただき、林業体験や農業体験、地域の人へのインタビューなどを行うことができ、学生にとって貴重な学びの機会になった様です。2023年度の豪州や台湾からの訪日教育旅行の問い合わせも入り、徐々に回復の兆しがみられます。



香港ブックフェアへの映像参加・マレーシア旅行博での写真起用

7月20日～26日、香港最大級の旅行博「香港ブックフェア 2022」が現地で開催され、当協会では昨年に引き続き、美山のPR映像を上映する形でイベントに参加しました。出展ブースには5万人を上回る来場者が訪れたとのことで、訪日旅行への関心の高さが伺えました。また、マレーシアで開催された旅行博では日本政府観光局のポスターにかやぶきの里の秋の風景が起用され、現地の多くの方にご覧いただく機会となりました。



夏休み・シルバーウィークの観光入込客数

3年ぶりに行動制限のない夏休みを迎えた2022年。京都府および隣接府県居住者を対象とした旅行割引キャンペーン「きょうと魅力再発見旅プロジェクト」の後押しもあり、週末を中心に多くの観光客が美山を訪れました。夏休み期間中(7/21-8/31)のかやぶきの里人数カウンターによる通過人数は清流美山の鮎まつりの日程でもある8月15日が最も多く1,665人となりました。

一方、台風の影響が心配されたシルバーウィーク(9/18-9/25)は前年比約24%減、8日間で8,200人の通過人数に留まりました。9月24日にはかやぶきの里で観光動態調査を実施し、200以上の回答を得ることができました。今後、調査結果を分析し、誘客のための施策につなげてまいります。

美山フォトコンテスト 2022-2023 「暮らすように旅をする」

6月7月8月入賞作品発表

現在開催中のInstagramを活用した美山フォトコンテスト。6月～8月の各季節賞3点が決定しました。

テーマ：「暮らすように旅をする」

募集期間：2022年4月1日～2023年3月31日

＼毎月ご応募受付中／ 応募方法：

- 1) Instagramで@kyotomiyamaをフォロー
- 2) 応募用ハッシュタグを付けて写真を投稿



6月入賞作品
「美山仲夏」



7月入賞作品
「鬼が歩く夏」

夏休み・シルバーウィークの美山ナビ 利用状況

当協会が運営する観光情報サイト「美山ナビ」の利用状況を、夏休みとシルバーウィークを含む7月21日～9月30日の期間で調べたところ、美山ナビ利用者数は昨年度比38%増となり、2019年度（コロナ前）と比較しても増加していることが分かりました。また、閲覧ページ数は昨年度比51%増で、コロナ前に近い数字まで回復しています。今後もWEB上の傾向を分析しながら、効果的な情報発信やページ作成につなげてまいります。

38%

2019年	82,034
2021年	71,785
2022年	99,647

ユーザー数



大阪	16,596
京都	11,759
渋谷	5,019

市区町村別
ユーザー数

51%

2019年	456,632
2021年	285,736
2022年	431,764

閲覧ページ数



7月28日	4,569
8月10日	3,186
9月23日	2,674

最も閲覧ページ数が多かった上位3日